

2020年4月9日

横浜市長
林 文子様

カジノ・IR 事務事業の停止を求める意見書

カジノを考える市民フォーラム共同代表
一般社団法人勁草塾代表理事 齋藤 勁
横浜地方自治研究センター理事長 岡 真人
生活クラブ運動グループ横浜未来アクション
共同世話人 若林 智子

さる3月24日の横浜市議会でカジノ整備計画を含む令和2年度横浜市予算案が可決されました。カジノ・IR事業は、市長が誘致表明発表以来、市民の重大関心事となりました。市長が市内各区で説明会を開催中ですが、開催された全ての会場で強い反対の声が寄せられましたことは、十分認識されていると思います。

本来、市民の声にしっかり応えるなら、新年度予算に事業予算を計上すべきではありません。議会内で提出されたカジノ事業を削除した修正案に、真剣に向き合うべきでありました。

未だ、政府においては現職代議士が逮捕されたからか、「基本方針」が示されていないではありませんか。私たちは、このような市民無視のやり方に強く抗議します。

さて、現在我が国を含め世界は、新型コロナウイルスの感染防止に懸命に立ち向かっています。学校休校、イベント等各種事業の中止、市民の行動制限要請、テレワーク利用の職場対策等々、生活・社会・教育・経済活動等に深刻な影響を与えています。

世界の多くの識者は、経済的損失はリーマンショック以上ではないかと分析しています。

横浜港大黒ふ頭に係留されていた、ダイヤモンド・プリンセス号での感染者対策は世界中から注目を浴びました。横浜＝新型コロナとして、強く印象付けられました。しかも、横浜開催をも含む2020東京オリンピック・パラリンピックが延期と決められました。そして、4月7日には特別措置法を根拠とする「緊急事態宣言」も発せられました。

市長、今あなたが直ちにすることは、市民の先頭に立ち、新型コロナウイルスの更なる感染防止に努め、多くの医療関係者の英知を集め、万全の態勢を整える

ことです。

そして市内経済の実態をきめ細かく把握し、市民の悲鳴に真剣にスピード感を持ち対応する時です。市民の生命・財産を守ることです。

これだけ、指摘すればもうお判りでしょう。市長、「カジノ・IR事業の停止」と直ちに指示してください。そのことを、強く求めます。

私たち「カジノを考える市民フォーラム」は、何回かの勉強会を重ね、多くの市民の皆様と協議し、以上の意見書の提出に至りました。上記意見について、速やかな行動と回答を求めます。